

平成21年3月30日

滝沢村長 柳 村 典 秀 殿

一本木地区汚水処理推進委員会  
委員長 角 掛 喜美夫



### 提 言 書

日頃、一本木地区汚水処理推進委員会の運営にご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、私達が住む一本木地区が、村の汚水処理実施計画及び農業振興地域整備計画において、農業集落排水事業の計画区域となっていることから、平成16年2月に当委員会を設立し、将来における地域の発展の方向性や、地域の実情に最も適した整備手法をこれまで検討してきたところであります。

地域としての方向性を見出すために、これまでに12回の委員会を開催するとともに、ワークショップの開催及びアンケート調査を実施し、その結果につきましても、委員会だよりでお知らせしながら地域住民とのコンセンサスを図ってきたところでもあります。

当委員会としましては、これまでの活動の中で、公共下水道や農業集落排水事業は、居住環境の改善と公衆衛生の向上を図るうえで、その重要性は十分に認識することができましたが、その整備には多額の費用を要するとともに、地域住民が負担しなければならない排水設備の設置及び水洗便所への改造等に係る経費並びに負担金を考えた場合に、地域住民の相当数の賛同を得て実施することは困難であると判断し、一本木地区においては、公共下水道及び農業集落排水事業ではなく合併処理浄化槽を普及させていこうという一定の方向性を見出しました。

つきましては、地域住民や委員会における各委員から「汚水処理に要する費用の低減」を強く望む意見が多かったことから、合併処理浄化槽の普及促進策としまして、下記事項のとおり提言いたしますので、ご高配いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

なお、委員会は、地域における浄化槽の普及や環境について考える機会として、委員会を継続的に開催していくことが申し合わされたところであり、今後も村からのご協力をお願い申し上げます。

### 記

- ・ 一本木地区における汚水処理施設整備の方向性は、当分の間、「合併処理浄化槽」によるものとするが、現行の「村補助金」の増額と「工事費低減の措置」
- ・ 早期の道路側溝の整備